

農時電送

水稻 No. ①

1 健苗育成のポイント

(1) ハウスの温度管理

今年の春先は気温の高い日が続いていますので、温度管理に十分気をつけましょう。

日中十分に換気した上で気温が25℃以上になる場合は、ハウスを閉める時間を遅くするなど、夜間に熱がこもらないように温度管理しましょう（霜が予想される場合を除く）。

出芽後は、葉上(5cm程) 気温で管理しましょう。

出芽～1.5葉まで 日中：25～20℃ 夜間：10℃以上	⇒	1.5葉以降～移植7日前 日中：20～18℃ 夜間：10℃以上	⇒	移植7日前～移植 日中：18℃～外気温 夜間：10℃以上
------------------------------------	---	---------------------------------------	---	------------------------------------

(2) 追肥

育苗様式	肥料銘柄・施肥量		追肥・弁当肥え時期	
箱マット	育苗液肥	100倍液・500ml/箱	1回目	1.0～1.5葉期
	NP化成	7g/箱	2回目	2.0～2.5葉期
	硫安	5g/箱	3回目	移植5～3日前
成苗ポット	育苗液肥	100倍液・500ml/箱	1回目	不要
	NP化成	7g/箱	2回目	不要
	硫安	5g/箱	3回目	移植5～3日前

各育苗様式とも移植5～3日前に追肥を行い、移植後の活着促進に努めてください。

苗が目標の葉齢に達しても移植できない場合は、1週間おきに追肥を行い、老化防止に努めましょう。

育苗用緩効性肥料（マイクロロング、エコロングなど）を施用した場合、追肥は不要です。

2 移植時苗形質と育苗管理の留意点

早期異常出穂は穂揃いを悪くし玄米品質を低下させる障害です。育苗後半の高温や、育苗日数が長くなることが要因になりますので、育苗日数は30日を目安にしましょう。

移植時苗形質	※（ ）は早期異常出穂リスク		成苗ポット	中苗マット
	草丈		10～13cm	10～12cm
	目標葉数	ゆめぴりか（中）	3.6～4.3葉以内	3.1葉以内
ななつぼし（高）		3.6～4.0葉以内		
育苗管理の留意点	温度管理		2.5葉期以降は25℃以上としない	
	育苗日数		中生品種は30～35日	

★移植後半の苗質の老化に注意してください（葉数と日数は下限を基準に設定）

3 本田準備

(1) 深水管理（水深20cm）が可能な畦高の確保と入水後の漏水を防ぐために、畦塗りや畦畔の補修をしておきましょう。

(2) 施肥量について：土壌診断に基づく適正施肥が重要。（北海道施肥ガイド2015より）

☆窒素は、収量目標510kg/10aとして低地土：8～8.5kg/10a、泥炭土：6.5kg/10aを標準として、培養窒素値により低+0.5～高-1.0kg/10a範囲で増減。稲藁鋤込みほ場は1～2kg/10aの減肥。

☆リン酸は、8.0kg/10aを標準として、分析値により増減します。・・・基準値を超えるほ場が多く、リン酸減肥が必要となっています。（6～4kg/10a程度に、磷酸減肥銘柄への切り替えを！）

☆カリは、8.0kg/10aを標準として、分析値により増減します。（低14～高5kg/10a）

(3) 土壌改良資材：各種ケイ酸質資材の施用。なお、pH6.0以上ではケイカル施用は避けましょう。また、泥炭土等のマンガン不足のほ場はFTE（ミネラス）を施用しましょう。

春の繁忙期、声掛け合って農作業事故を防ごう！